

# 郷地・東町かわらばん

〈発行責任者〉 郷地東町連合自治会会長 志村和亮  
 〈作成〉 総務広報部：角田三郎・木村悦雄・宮崎文男・藤尾 敦・柿澤 修・中島岩雄・清水和子

## スタンドパイプ操作講習会

当第1ブロックは6月14日（土）の10時～11時30分に、講義・実技が昭島市環境コミュニケーションセンターで実施されました。当日は3自治会が参加し、昭島消防署の浅見係長の講義の後、外で突然来るかもしれない、大震災に使用できるスタンドパイプ操作について実技訓練を実施。参加者の中には初めての方も数回参加された方もいましたが、消防職員や消防団員の指導のもと、真剣に訓練に取り組んでいました。（志村和亮）



屋外では実際に放水をする訓練を実施

## 多摩川危険箇所点検

7月12日（土）午前8時から、郷地東町連合自治会防犯部による多摩川危険箇所点検を行ないました。参加者は4人で、草で埋もれた看板の周りの

草を刈り、壊れた看板を交換するなどしながら所定の場所の点検を実施。幸い天気は曇りがちの空模様でそれほど暑くはなく、気持ち良く点検ができました。（志村和亮）



## 交通・防犯関係の表彰

### ◆交通功労者表彰

7月10日、昭島警察署にて対象者22人が出席し、交通功労者等表彰式が挙行されました。当連合自治会では、連合自治会長の志村和亮さんが「交通栄誉章緑十字銅章」を、交通支部長の紅林隆男さんが、「優良運転者感謝状」を授与されました。



### ◆昭島市防犯協会から感謝状授与

昭島市防犯協会の郷地東町支部が、地域安全活動を積極的に推進し、防犯活動への貢献度大として表彰され、7月11日、昭島警察署にて、防犯支部長の鷹取正次さんが代表して出席し、防犯協会から感謝状を授与されました。



## 連合自治会長のつぶやき

当連合メイン行事の一つである夏の大祭が無事終了してホッと一息。振り返ってみると、今年は6月から35℃を超える猛暑日が発生し始め、8月5日には群馬県伊勢崎市内で、日本での過去最高気温41.8℃を記録。また27日には東京都心千代田区で10日続けて35℃以上の猛暑日となり、都心の猛暑日最長記録を更新。更に猛暑日最多記録も更新しました。それに伴い熱中症の被害者も当然増えています。そんな中での開催でした。

猛暑だけでなく、7月31日にはカムチャッカ半島付近の地震による津波が発生し、広範囲の地域に避難命令が出されたのも記憶に新しいことです。集中豪雨や台風による被害も後を絶ちません。こういった自然の脅威はまだ他にもあります。

先日、自治会長研修会で「富士山噴火降灰



対策について」の講話がありました。普段美しい姿には見とれても噴火することまでは考えないでしょう。しかし、富士山は休火山で過去に何度も噴火して被害を出しています。噴火した時の時期と風向きによっては、昭島市にも2cm～10cm降灰する可能性がある

とのこと。講話では降灰した時の対策まで教えて頂き、為になるお話でした。

以上のように、私たちの周りには、いつ発生するかもしれない自然の脅威が沢山あります。これらの脅威から身を守るためには、普段からそれぞれについての対策に気を配り、すぐ対応できるよう備えをしておくことです。今はスマホで見られるインターネットで、あらゆる情報が得られますので、それを上手に活用してみてください。

次は10月の運動会。これも無事終わられることを願っています。（志村和亮）